

用語説明

ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line)

既設の電話回線を使って、高速通信を可能にする技術またはサービスの総称。

CATV

有線テレビジョン（ケーブルテレビ）放送施設。

CIO (Chief Information Officer)

最高情報統括責任者。組織内の情報システムや情報の流通を統括する責任者を指す。

eラーニング

パソコンやコンピュータネットワークなどを利用して教育を行うこと。教室で学習を行う場合と比べて、遠隔地にも教育を提供できる点や、コンピュータならではの教材が利用できる点などが特徴。

ID (identity)

本人であること（の証明）、身元確認のための証明書を指す。

IPv6 (Internet Protocol Version 6)

インターネットに接続する規約の次期規格の名称。インターネットの接続に必要なアドレス（コンピュータを識別するための数字、番地）がほぼ無限大に設定可能となる。このため、様々な情報端末（パソコン、モバイル、情報家電、自動車など）がインターネット上にてネットワーク化され、生活のあらゆる場面からインターネットに接続可能となる。

ITS (Intelligent Transport System)

高度道路交通システム。

IT 基本法

高度情報通信ネットワーク社会形成基本法のこと。ITの活用により世界的規模で生じている社会経済構造の変化に的確に対応するため、高度情報ネットワーク社会の形成に関し、基本理念及び施策の策定に係る基本方針や重点計画の作成について定めることにより、同施策を迅速かつ重点的に推進することを目的として制定されている。

IT 資産管理

庁内のどこにどんなパソコンが配備されていて、そのパソコンを構成する装置・機器の構成（CPUなどのコンピュータの中核となる装置やメモリなどの記憶装置ほか）やパソコン内に設置されているコンピュータプログラム（ソフトウェア）構成がどうなっているのかを一元的に管理しようとするもの。

IT 農業

IT 農業研究会（株式会社サイエンスクリエイト、財団法人東三河地域研究センター）による造語。あらゆる農業活動において IT を有効に活用し、現在の農業が抱えている諸課題を解決していこうとするもの。

IX（インターネットエクスチェンジ）機能

複数のインターネット接続事業者や学術ネットワークなどを相互に接続する機器またはその機能のこと。

LAN（Local Area Network）

同一建物内、あるいは同一敷地内などの比較的狭い地域に分散設置されたパソコンなどの各種コンピュータを結ぶ構内ネットワークシステム。

L G W A N（Local Government Wide Area Network）

総合行政ネットワークの略称で、地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク。

NPO（Non Profit Organization）

組織的にボランティア活動等を行う「民間非営利組織」。

アーカイブ化

文書や記録を集積すること。デジタル技術により、様々な資源を、文字、映像、音声等により記録集積し、インターネット等で配信したり検索し再利用したりすることを可能としたもの。

アウトソーシング

外部（outside）の経営資源（source）を活用すること。

インターフェイス

人がコンピュータを取り扱うときの機器やプログラムなどの手順や仕様。

エスクローサービス

第三者預託サービス。金融においては第三者が金銭や品物の受け渡しの仲介をすることにより、取引の安全性を高めるサービス。

オンライン教材

インターネットなどのネットワークを介して教材の配布を行うことで、いつでもどこでも教育・学習を行うことができること。

検索エンジン

インターネットの中から目的に応じた情報を検索する機能。キーワードとなる単語から関連する情報を一覧にて表示することができる。

コミュニティ

一般的に、地域共同社会と訳される。行政の分野では、都市化の進展に伴う伝統的な地域共同体の消滅により発生した様々な問題を解決するために、新しい形の地域社会の形成を指向する際に使われることが多い。

コミュニティ FM

市町村の一部の地域において放送事業を行う超短波（FM）放送局のこと。

コンテンツ

情報の中身。ホームページに掲載される、文章、写真、画像データなどを指す。

コンピュータウイルス

ネットワークやコンピュータ用磁気ディスク（フロッピーディスク）などを介してコンピュータに感染し、その中の情報を破壊するなどの害を及ぼすプログラム。

サイト（ウェブサイト）

インターネット上で公開されている文書（ウェブページ）が置いてあるインターネット上での場所。

情報リテラシー

コンピュータやネットワークを取り扱う知識や能力。

スパイウェア

企業が配布するフリーウェアなどに添付されるアプリケーションソフトで、ほとんどのユーザはスパイウェアを気づかずにインストールしてしまう。パソコンを使うユーザの行動や、メールアドレス、クレジットカード番号などの個人情報を収集して特定の場所に送信したり、パソコンの動作に支障を与える。

ソフトウェアをインストールするときに利用条件が表示されていることが多く、利用者がインストール時に承諾している以上、スパイウェアをただちに違法と断定できない。

セキュリティ

コンピュータやネットワークの安全性や機密性。

セキュリティポリシー

自治体や企業など組織全体の情報セキュリティに関する基本方針のこと。広義には、セキュリティ対策基準や個別具体的な実施手順などを含む。

ダウンロード

コンピュータネットワークを通じて、様々なデータを自分が利用しているコンピュータに転送すること。

地理情報システム (GIS)

デジタル化された地図(地形)情報と、統計情報や位置の持つ属性情報などの位置に関連した情報とを統合的に扱う情報システム。様々な情報は地図上に一括して表示され、表示したい事象を視覚的に把握することができる。

データセンター

顧客のサーバを預かり、インターネットへの接続回線や保守・運用サービスなどを提供する施設。「インターネットデータセンター」(IDC)とも呼ばれる。

デジタル・デバイド

インターネットなどを利用して情報を収集・活用する情報技術を持つ者と持たない者との間に生じる格差。

テレメータ

遠方から電気信号として送られてきた測定量を解読し、指示あるいは記録する装置。

テレワーク

高度情報通信基盤を利用して企業などに通勤せずに勤務する労働形態。

電子会議室

インターネットのホームページ上に設置した電子掲示板などを使って、特定のテーマに対する意見交換や情報交換する仕組みのこと。

電子カルテ

病院・診療所などで、診療録(カルテ)などの診療情報を電子化して、保存・更新するシステム。

電子タグ

電子タグとは、商品などの情報を記録した IC チップ(集積回路)をつけて、電波や磁気で情報を読み取るもの。流通・物流分野での応用が検討されている。

電子調達

インターネットを利用した部品や資材の調達。商品の発注や見積もり、請求などについてインターネットを利用して行うことで、費用の削減や時間、場所に縛られない取引が可能になるとされている。

豊橋サイエンスコア

昭和 63 年 3 月、豊橋技術科学大学と民間企業をつなぎ、産業交流や研究開発を行うサイエンスクリエイト 21 計画が策定され、その拠点施設として、平成 4 年 11 月、豊橋市西幸町にオープンしたものの。

トレーサビリティシステム

「トレーサビリティ」とは「追跡可能性」の訳。例えば、スーパー等に並んでいる食品が、いつ、どこで、どのように生産、流通してきたものかについて、消費者がいつでも把握できる仕組みのことを指す。

ネットショッピング

商品などの申し込みを、カタログなどの代わりにホームページを見て行う「通信販売」のことを指す。昨今の技術革新により、携帯電話などでも気軽にショッピングを行うことができるようになっており、その意味も広がってきている。

ノンストップサービス

24 時間 365 日にわたってサービスを行うことを指す。住民が都合の良い時間にサービスを受けることが可能となる。

バリアフリー

障害者や高齢者の生活や活動に不便な障害を取り除くこと。

光ファイバ

光ファイバケーブル。光信号が反射されながら伝送される、ガラスあるいはプラスチックでできたケーブル。銅線などの金属製ケーブルに比べ、高速な情報伝送ができる。

プライバシーポリシー

個人情報取得や保護に関する組織（自治体や企業など）の体制や各業務の流れを指す。

ブラウザ

インターネット上のサイトを閲覧するためのソフトウェアのこと。

ポータルサイト

インターネットの入り口となるウェブサイトのこと。検索エンジン*やリンク集*を核として、多種多様な情報の提供、ブラウザから利用できるメールサービス、電子掲示板など、利用者がインターネットで必要とする機能を有するサイトのことをいう。

マルチペイメントネットワーク

行政サービスを受ける利用者が、公共料金や税金、行政手数料などの納付金を自宅のパソコンや携帯電話、金融機関の ATM（現金自動支払機）から支払うことができる電子決済基盤のこと。民間分野において先行的に利用されている。

メディア

方法、媒体などのこと。コミュニケーションを媒介するものとしての新聞や雑誌等を意味する。

モバイル

移動中や外出先でパソコンや携帯電話などを使うこと。移動中や外出先でも家や職場と同じような情報機器の利用環境が実現できるようになってきている。

ユビキタス

ユビキタスの語源はラテン語で、いたるところに存在する（遍在）という意味。

インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、どこからでも接続できる環境を指し、場所にとらわれない働き方や娯楽が実現できるようになると考えられる。

リンク

他のウェブページに直接移動できるように移動先の情報を埋め込んでおくこと。リンク集は複数のリンクを目的や内容別に整理したものを指す。

ユニバーサル・デザイン

健常者、障害者の分け隔てなく、誰もが使いやすく、楽しみやすいものにするというもの。

ワンストップサービス

一度の手続きで、必要となるその他の手続きをすべて完了させられるように設計されたサービス。特に、様々な行政手続きを一時的に行える「ワンストップ行政サービス」のことを指す場合が多い。

ワンストップサイト

ワンストップサービスを提供するサイトを指す。